

令和 2 年度第 1 回中井町総合計画審議会 ご意見と回答

●令和 2 年 6 月 24 日（水）に開催した「令和 2 年度第 1 回 中井町総合計画審議会」において、委員の皆さまからいただいたご意見に対する回答は次のとおりです。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
1	SDG s について	◆SDG s がそもそも何なのかが分かりづらい。 ◆後期基本計画より、SDG s のアイコンを入れるようにしているが、その理由と狙いは何なのか。SDG s に取り組む必要性はどこにあるのか。 ◆全く分からない町民が見ても分かるように、分かりやすい記載を心掛けていただきたい。 ※SDG s を分かりやすく説明するために、独自の図を作成している事例もあるので、それらを参考にしながら、分かりやすい説明を心掛けていただきたい。なぜ、SDG s の話が出てきたのかという背景を記載するなどしつつ、もっとレベルを下げて解説することが必要ではないか。	◆SDG s は、環境・社会・経済などの幅広い課題に対して統合的に取り組むことによって、将来にわたって誰でも豊かな暮らしができるようにするための 17 個の世界共通の目標です。その目標を達成するためには、全ての国が協力して、課題解決に向けた取組を進める必要があり、本町においても、地域に関わる全ての人が、SDG s の理念を知り、力を合わせて取り組んでいくことが求められます。 ◆ただし、SDG s で掲げている目標は、本町でも既に取り組んでいるものであることから、SDG s に特化した取組を始めるのではなく、既存のどの取組がSDG s のどの目標達成に結びつくものなのかを表すために、SDG s の 17 種類の目標のアイコンを該当する施策に表示することで、町の施策とSDG s の目標との関係性が見える化しています。 ◆後期基本計画の 8 ページ及び 9 ページに、SDG s の説明を記載していますが、8 ページの説明文を補強し、SDG s の体系を表す図に変更することで、分かりやすさの向上を図ります。
2	分かりづらい言葉について	◆SDG s や KPI など、聞きなれない言葉が多く出てきており、言葉の解説もないので分かりづらい。用語説明の一覧を付けていただきたいと思う。 ※用語集を巻末に付けるべき。また、用語集を作成するときの注意点として、教科書的な説明で足りるものと、町独自で定義付けをしているような用語については、棲み分けして記載した方がよい。	◆前期基本計画では、ページごとの欄外に、用語解説を記載していました。後期基本計画においても、同様に欄外へ用語解説を記載し、より分かりやすい記載に努めます。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
3	町民、企業等の意見の反映について	◆後期基本計画の素案を作成するまでに、町民・企業等に対するアンケート、町民ワークショップなどをやってきて、それらの意見もしっかり反映させているということを計画書に記載したらどうか。一緒になってやっていくということが書かれていると良いかなと思う。	◆後期基本計画 12ページ の「3 町民意向」に、町民ワークショップでも出ていた意見であることを記載します。 ◆町民・企業等が一緒になってやっていくという部分については、巻頭の「町長あいさつ」に記載する予定です。
4	計画全体の印象について	◆今回から総合戦略やSDGsといった要素が入ってきて、内容が盛りだくさんである。それにより、町の目指す方向性が全体的にぼやけている印象である。そうすると、適切に事業評価ができるのかという懸念もある。	◆施策の統廃合を積極的に行うなど、できるだけシンプルな計画となるように調整してきました。総合戦略、SDGsという視点は加わりましたが、これまでも取り組んできたものであり、新たな施策を増やすのではなく、総合計画に集約することで、簡略化を図りました。 ◆重点プランに掲げた施策を重視し、総合計画審議会などでの協議を通じて、定期的に評価・改善を行っていくことで、効果的に事業を進めていきます。
5	地域活動、サロン活動について	◆重点プラン3の中に、地域活動やサロン活動を増やしていく記載がある。全27の自治会の中で、そのような活動に取り組んでいる自治会もあれば、やっていない自治会もある。一方で、自治会の担い手不足などの課題もあり、自治会単位での活動に期待するのにも限界があるので、ブロックごとに分けて活動を促していくのも一つではないか（自治会ごとにこだわる必要はない）。難しいとは思いますが、それらを町が先導してできるとよい。	◆分野別計画の 74ページ 「施策番号7-1-2-1」に記載しているとおり、自治会へのヒアリングなどを行うことで、自治会の現状を把握し、自治会への支援に取り組めます。また、地域づくりを担う新たな人材・活動等が生まれていくように、自治会の枠にとられない活動が進むためのきっかけづくりに取り組んでいきます。
6	広域連携について	◆新型コロナウイルスの感染が拡大する中、本町においては拠点病院がないなどの課題が生じており、町単独ではなく、広域連携をもっと進めていく必要があるのではないかな。	◆分野別計画の 38ページ 「施策番号2-1-2」に記載しているように、町内の医療機関のみならず、近隣の医療機関との連携も進め、安心して医療を受けられる環境づくりを進めていきます。加えて、分野別計画の 81ページ 「施策番号7-3-1」に記載しているように、医療分野を含めた広域連携事業の必要性を認識し、推進を図ります。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
7	コロナ禍を踏まえた記載について	◆新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考えると、新型コロナウイルスへの対応や医療に関する記載が、もう少し書かれていてもよいのではと思う。 ◆新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、東京一極集中が是正され、地方への関心も変わってくるので、それに対する受け皿として、何か施策をうっていく必要もでてくるのではないかな。例えば、テレワークが増えてきているので、テレワークをしやすい環境を整えるなどの施策も考えられるのではないかな。 ◆本町は、新型コロナウイルスの感染者数が0人であり、住みやすい町としてアピールをしていけないのではないかな。 ※素案を作成するまでの間に、コロナ禍を想定して作っていない。したがって、コロナへのリスクマネジメントを考えて、改めて素案の内容を検討することはしてもよい。今からガラッと内容を変えるのは難しいが、どこかに付け加えるということではできないのではないかな。	◆分野別計画の38ページ「施策番号2-1-2」の内容は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を意識して記載しており、医療体制の充実や町民の生命及び健康の保護を記載しています。また、分野別計画の67ページ「施策番号5-3-1」では、働く場の創出として、在宅ワークに対する支援に努めることとし、分野別計画の78ページ「施策番号7-2-2」及び79ページ「施策番号7-2-3」では、ICT（情報通信技術）を活用した町民サービスや行政運営の向上を記載し、コロナ禍における新しい生活様式に対応する内容が記載されています。 ◆新型コロナウイルスの感染拡大の受け皿となるような施策は特段考えていません。しかし、これまで以上に医療体制の充実を図ることが求められ、他方では、感染拡大の影響が少ない地方の魅力をいかしたPR等によって、効果的に移住・定住施策などが展開できるとも考えられるため、社会情勢を見極めた柔軟な施策の展開を模索しながら進めていく必要性が、増していくと考えています。 ◆後期基本計画11ページの「④価値観の多様化と共生社会の実現」に、新型コロナウイルス、テレワークに関する記載を加えています。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
8	関係人口について	◆関係人口は、定義が曖昧であるものの、実績値が268人と具体的な数値が記載できているのはなぜなのか。数値の内訳はどのようなになっているのか。その中身が見えてくると、今後どのように取り組んでいくのかが見えてくると思う。	◆関係人口については、ご指摘のとおり、明確に定義をすることが困難であることから、まずは本町としての定義をはっきりさせることが重要だと考えています。 ◆本町においては、第六次総合計画において形成に取り組んでいる町の交流拠点の活動を通じた関係人口の創出と、後期基本計画の重点プランに掲げる「産官学民の連携事業」のうち、特に学生との連携事業による若者の関係人口創出に取り組んでいきたいと考えています。（後期基本計画21ページ） ◆実績値は、町の交流拠点の活動による既存の関係人口をカウントしており、目標値は、交流拠点に関連した目標値に、産官学民の連携事業に関連した目標値を加えたものになっています。
9	転入者の施策について	◆転入者の増加を目指すとしているが、単に数字上で目指すのではなく、どのような方がどういった理由で転入してくるのかというところを分析していくと、対策がとれるのではないかと。	◆後期基本計画の策定にあたり実施した「転入者アンケート」により、仕事の関係で転入してくる方が多いことなどを把握しています。重点プランに位置付けている「事業所の新設」（後期基本計画21ページ）が進むことにより、そのような方はさらに増えると考えられます。 ◆移住相談ブースに出展すると、特に地方でスローライフを送りたい方、農家として暮らしていきたい方からの相談が多いと言えます。そのような方々に対しては、新規就農者への手厚い支援、農地付きの空き家の紹介などが行えると、効果的だと考えられます。 ◆本町においては、20歳代及び30歳代の子育て世代の人口が減少傾向にあります。重点プラン2（後期基本計画22ページ）に掲げるように、快適に子育てができるまちづくりを進めていくことで、子育て世代の転出抑制と転入増加を進め、出生数の増加を図っていききたいと考えています。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
10	外国人住民について	◆外国人住民が増えている現状を加味し、外国人住民と暮らしていくという未来を描くのも必要になるのではないかな。 ◆数年先を見据えるのではなく、50年～100年くらいのスパンで考えることも重要になってくるのではないかな。 ◆外国人住民が増えていることを考えると、多言語化にもっと取り組んでいくべきだと思う。 ◆外国人住民が増えてきて、二世、三世の時代になっている。外国人住民も、他の住民となんら変わらず生活をしている。国際化や情報化に触れて、外国人住民と一緒にまちづくりをしていくということが、もっと計画に表れる方がよいのではないかな。	◆外国人住民が増加している現状から、今後、ますます外国人住民との共生の重要性が増していくと考え、前期基本計画では掲げていなかった「新たな外国語対応の取組数」を重点プランに掲げています。 (後期基本計画25ページ) また、分野別計画の76ページ「施策番号7-1-3」に、引き続き外国人住民が住みやすい地域の環境づくりを進めていく必要があることを記載して、対応しています。
11	人口ビジョンの改訂について	◆人口ビジョンの改訂を進めていくのに、総人口何人を目指すなどの大きな数字ばかりを追うのではなく、本町には重度障害施設や老健施設などがあり、そういった方々が転入してくるという実態もあることから、そのようなことをトータルの見ていく必要がある。	◆本町の人口課題は、総人口の減少だけではなく、少子高齢化や合計特殊出生率の低下などの問題も抱えており、進学・就職・結婚などを理由とした転出が多いといった実態もあります。本町の特性を多面的に把握しながら、人口の将来展望や目標を決めていく必要があると考えています
12	重点プランの「関連する主な施策」について	◆主な施策ということで、小施策単位で選択しているが、計画の中にはたくさんの小施策が記載されていることから、大施策単位で選択してはどうか。	◆ご提案のとおり修正します。 (後期基本計画21、23、25ページ)
13	重点プランの「期待される効果」について	◆個別目標値の部分で、1～5番という形で関連性を示しているが、番号の数にバラつきがある。1番の期待される主な効果を中心として、2～5番に広がっていると思うので、それぞれを繋いでいる矢印の部分に、A～Dを振って、個別目標値の部分もA～Dで記載したらどうか。	◆ご提案のとおり修正します。 なお、A～Dは矢印付近ではなく、各効果付近に記載します。 (後期基本計画20～25ページ)

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
14	重点プランの「総合戦略の目標」について	◆総合戦略の目標部分で、基本目標1～4が記載されているが、基本目標の1及び2が少なく、4は非常に多くなっている、バラつきがある。そこをバランスよくできるとよい。 ◆1～4の基本目標の内容が何であり、どこに記載されているのかが分からないので、基本目標の説明が書かれているページを記載したらどうか。	◆本町において、重点的に取り組むべき施策を選別した結果として、基本目標にバラつきが生じており、均等にするためには、重点プランの施策を大きく組み替える必要があります。基本目標の数にバラつきがあることで、本町として取り組むべき目標に特徴が出ているとも捉えています。 ◆重点プラン右ページ（後期基本計画21、23、25ページ）の余白に、基本目標の内容が5ページにあることを追記します。
15	全体的な記載について	◆町民目線で分かるように記載していただきたい。	◆用語解説を付けることや、施策がイメージできる写真や図なども加えることで、誰が見ても分かりやすい記載に努めます。
16	重点プランの成果・効果について	◆重点プランに評価指標が設定され、指標が明確になることで、評価がしやすくなったと言えるが、それを達成することで、本当に成果・効果がでるのかという点は疑問がある。 ◆解説があることで、分かりやすくなると思う。	◆数値目標を設定するとともに、後期基本計画より「基本目標値」と「個別目標値」と段階的に数値目標を設定することで、より評価をしやすくしています。成果・効果がでるようにするため、取組内容、実績値の把握などを定期的に行い、総合計画審議会などでの協議を通じて、評価・改善をしていくことで、効果的な施策の推進ができると考えています。 ◆用語解説を付けて、分かりやすさの向上を図ります。
17	「総合型地域スポーツクラブ数」について 【審議会後の提出意見】	◆クラブが1つ誕生しても、それに参加する町民はわずかであり、一つのクラブを誕生させるための人材集めも大変である。逆に、スポーツイベントを増やすことで「総合型地域スポーツクラブ」を誕生させるチャンスが増えるのではないかと。小さくてもよいので、スポーツイベントの件数を数値目標にした方が、進めやすいのではないかと。	◆総合型地域スポーツクラブの発足を目指し、前身組織である「里都まちぷらっとスポーツ」という団体ができました。これまでに、スポーツイベントの実施等を通じて、組織や活動の周知を行い、仲間集め等も行ってきました。これらの活動は、総合型地域スポーツクラブを立ち上げるための手段として、行っていると考えており、根本となる目標はクラブの立ち上げになると考えています。 ◆また、交流人口の増加や総合型地域スポーツクラブの立ち上げに向けた活動の中で、スポーツイベントの活発化に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

No.	ご意見		回答
	概要	内容	
18	「里山をいかした取組数」について 【審議会後の提出意見】	◆里山歩き等が大人数になったりすると、里山の所有者は迷惑と思う人がいるのではないかと思いますので、活動可能な場所の整備(数値目標はその数)の方が、有効ではないかと考える。所有者、利用者相互に利用方法を検討して楽しめる場所づくりが必要だと感じる。	◆里山を含めた自然環境については、整備等による保全・継承が大事であるとともに、本町の豊かな自然環境をいかした取組創出の2面からのアプローチが効果的だと考えています。前者の保全・継承については、重点プラン2の「一人1日当たりのごみの排出量」の削減に町民等が取り組むことで、進むものと位置付けており、「里山をいかした取組数」の増加が、後者の自然環境をいかした取組創出に結びつくものと意識して位置付けています。（後期基本計画 23ページ ） ◆ご指摘のとおり、所有者、利用者の双方が納得できるように進めることは大事ですが、既に行っているノルディック・ウォークイベントなどは、里山に入らなくても本町の景色を楽しみながら行えるイベントであり、そのような取組が増えていくことで、本町の魅力を発揮できると考えています。